



ホンジュラス共和国 (Republic of Honduras)



- 日本は伝統的に主要援助国。1994年～1997年、2005年～2007年は第1位の援助供与国。
- 青年海外協力隊派遣実績は中南米1位。
- 1998年のハリケーン「ミッチ」で大きな被害を受けたホンジュラスに対して、日本は1992年の国際緊急援助隊派遣法改正以来初の自衛隊国際緊急援助隊を派遣。

国概要

(基礎データ)

- ・ 面積: 112,000平方キロメートル(日本の約3分の1)
- ・ 人口: 800万人(2014年, 世銀)
- ・ 首都: テグシガルバ(人口約119万人)
- ・ 民族: 混血91%, 先住民6%, アフリカ系2%, スペイン系1%
- ・ 言語: スペイン語
- ・ 宗教: 伝統的にカトリック(信教の自由を憲法上保障)
- ・ 政体: 立憲共和制
- ・ 議会: 一院制(128議席: 任期4年)
- ・ GDP: 202億ドル(2015年, 中銀)
- ・ GNI: 一人あたり 2,190ドル(2014年, 世銀)
- ・ 経済成長率: 3.6%(2015年, 中銀)
- ・ 失業率: 7.3%(2015年, 国家統計院)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

1502年	コロンブス到達
1522年	スペイン人による征服・植民開始
1539年	グアテマラ総督領に編入
1821年	スペインから独立
1823年	メキシコから分離、中米諸州連合結成
1838年	中米諸州連合より分離独立
1963年	クーデター
1969年	サッカー戦争
1982年	民政移管
1998年	ハリケーン「ミッチ」襲来
2009年	クーデターによりセラヤ大統領更迭
2010年	民主的選挙によりロボ大統領就任
2014年	エルナンデス大統領就任

援助実績(E/Nベース)

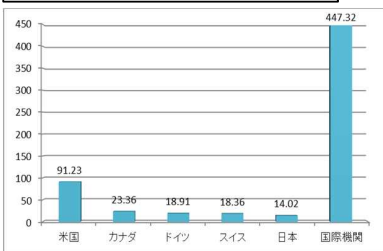
スキーム	額(累計)/人数(延べ)
円借款	507.74億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	763.77億円 (2014年度末時点)
技術協力	420.74億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ1,189人 (2016年6月時点で41人)
シニア海外ボランティア	延べ183人

出典: ODA国別データブック2015

青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)

(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

ホンジュラスへの主要ODA供与国 (2013年: OECD/DAC) (単位: 百万ドル, 支出総額ベース)



経済関係

スキーム	金額/人数(直近年)
日本からホンジュラスへの輸出	45.4億円 (2015年, 財務省貿易統計)
ホンジュラスから日本への輸出	87.5億円 (2015年, 財務省貿易統計)
在ホンジュラス日系企業数	3社 (2015年10月, 外務省統計)

人的つながり

項目	人数(直近年)
ホンジュラスにおける在留邦人数	148人 (2015年10月, 外務省統計)
在日ホンジュラス人数	156人 (2015年, 法務省統計)
日本からホンジュラスへの渡航者数	992人 (2013年, ホンジュラス移民局)
ホンジュラスから日本への留学生数	16名 (2015年5月時点(独)JASSO調査)

日本とホンジュラス共和国との協力年表

年代	案件
1935年2月	外交関係樹立
1974年	査証相互免除取極締結
1975年	青年海外協力隊(JOCV)派遣取極締結
1980年	JICAホンジュラス事務所設立
1995年	第1回目・中米「対話と協力」フォーラムを開催(於: エルサルバドル)
1996年	日・中米首脳会合(於: コスタリカ) 橋本総理が出席
1998年	ハリケーン「ミッチ」被害に対して初の自衛隊国際緊急援助隊を派遣
2003年	算数指導力向上プロジェクト開始
2005年	公的債務免除(約465億円)
2005年8月	日・中米首脳会合(於: 東京) 東京宣言・行動計画を採択
2006年	公的債務免除(円建て債務約56億円及びドル建て債務約5,400万ドル)
2007年	技術協力協定締結
2013年9月	地上波デジタルテレビ日伯方式採用を決定
2013年11月	大統領選挙OAS選挙監視団に参加
2015年2月	宇都外務大臣政務官が外交関係樹立80周年記念式典に出席
2015年3月	円借款「カニャベラル及びリオ・リンド水力発電増強計画」(160億円)
2015年7月	エルナンデス大統領が実務訪問賓客として訪日「日・ホンジュラス共同声明」を发出

累積派遣数は中南米第1位の1,189人(2016年5月末)。

死者7,007名、行方不明者8,052名、避難者61万7,831名と甚大な被害を受けたホンジュラスに対して、日本は1992年の国際緊急援助隊派遣法改正後初となる自衛隊国際緊急援助隊を派遣。首都テグシガルバで被災者のための医療活動・防疫活動を実施(約4,000人を診察、約3万3,000平方メートルを防疫)。緊急災害無償80万ドル及び緊急援助物資1,596万円(簡易水槽、発電機、浄水器等)の供与も実施。被災民救済の一環でWFP(世界食料計画)を通じて食料援助を実施。



防災能力向上のため、中米広域防災能力向上プロジェクト(BOSAI)、科学技術協力「地すべりに焦点を当てた災害地質学研究」(愛媛大学等との共同研究)等を実施。

「愛・地球博」における「中米の日」に合わせて開催。マドゥロ大統領が出席。

2007年に米国方式を採用していたが日伯方式に変更。

25年ぶりの円借款案件(160億円)。

外交関係樹立80周年、日・中米交流年



JOCV派遣取極締結40周年記念式典
(2015年12月8日 ①ホンジュラス大統領府)



日・ホンジュラス首脳会談
(2015年7月22日 ①内閣広報室)



海上自衛隊練習航海寄港
(2015年7月6日)

2015年の外交関係樹立80周年を記念してホンジュラス郵政公社が記念切手を発行。日本の経済協力等が図柄となっている。

外交関係樹立80周年記念式典 記念切手贈呈式
(2015年2月9日 ①ホンジュラス大統領府)

海上自衛隊練習航海寄港
(2015年7月6日)